

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室
 担当者 : 認証標準物質担当
 電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2016年1月25日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 6204002

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 6204-b 定量解析用リボ核酸 (RNA) 水溶液 (Ribonucleic Acid (RNA) Solutions for Quantitative Analysis)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、5種類の異なる塩基配列のリボ核酸 (RNA) 水溶液のセットである。各試料溶液は 533 塩基または 1033 塩基の 1 本鎖 RNA を含む。本標準物質は、DNA マイクロアレイ (DNA チップ) や定量的 RT-PCR (逆転写ポリメラーゼ連鎖反応)、次世代シーケンサー等を用いた RNA 定量解析において、定量装置および分析法の評価や精度管理に用いることができる。また、DNA チップの評価のための RNA 標準物質の値付けに用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。
 本標準物質は、標準物質 (日本産業規格 (JIS) Q0030 に定められるもの) である。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 分類できない

GHS ラベル要素 : -

注意喚起語 : -

危険有害性情報 : -

注意書き : [安全対策]

通常の手扱いで危険性は低い。

[応急措置]

吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗い流す。炎症を感じた時は医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合、直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

[保管]

−20℃以下の冷凍庫に保存すること。

[廃棄]

関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

単一製品 混合物の区別	: 単一製品 (水溶液) ※下記 試料 1～5 の 5 本セット
試料 1	: RNA500-A
化学名	: リボ核酸 (アクセッションナンバー: AB610939 (6204-a-500-1))
濃度 (含有量)	: 33.4 ng/μL
分子量	: 171 603.8
官報公示整理番号	: 特定されていない
CAS 番号	: 特定されていない
危険有害成分	: 特になし
試料 2	: RNA500-B
化学名	: リボ核酸 (アクセッションナンバー: AB610940 (CRM6204-a-500-2))
濃度 (含有量)	: 32.3 ng/μL
分子量	: 171 906.1
官報公示整理番号	: 特定されていない
CAS 番号	: 特定されていない
危険有害成分	: 特になし
試料 3	: RNA500-C
化学名	: リボ核酸 (アクセッションナンバー: AB610942 (6204-a-500-4))
濃度 (含有量)	: 32.1 ng/μL
分子量	: 171 547.8
官報公示整理番号	: 特定されていない
CAS 番号	: 特定されていない
危険有害成分	: 特になし
試料 4	: RNA1000-A
化学名	: リボ核酸 (アクセッションナンバー: AB610946 (6204-a-1000-3))
濃度 (含有量)	: 68.2 ng/μL
分子量	: 332 585.9
官報公示整理番号	: 特定されていない
CAS 番号	: 特定されていない
危険有害成分	: 特になし
試料 5	: RNA1000-B

化学名	: リボ核酸 (アクセションナンバー : AB610947 (6204-a-1000-4))
濃度 (含有量)	: 64.1 ng/ μ L
分子量	: 331 744.9
官報公示整理番号	: 特定されていない
CAS 番号	: 特定されていない
危険有害成分	: 特になし

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 多量の水と石鹼で洗い流す。炎症を生じた時は医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	: 直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水。
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム (またはガス) が発生することがある。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴等の保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 皮膚、眼および個人の衣服の汚染を防止するため、適切な保護具を着用する。
保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	: 漏出した液は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収する。
二次災害の防止策	: 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 特になし
- 局所排気・全体換気 : 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し局所排気装置を設置する。
- 安全取扱注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
使用後は容器を密閉する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。
屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。

保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、 $-20\text{ }^{\circ}\text{C}$ 以下の冷凍庫に密閉して保管する。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度（リボ核酸）

- ・ ACGIH TLV-TWA : 設定されていない
- ・ 日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない
- ・ OSHA PEL TWA : 設定されていない

設備対策

- 換気・排気 : 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し局所排気装置を設置する。

安全管理・ガスの検知 : -

貯蔵上の注意 : -

保護具

- 呼吸器の保護具 : 保護マスク
- 手の保護具 : 保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱うこと。

9. 物理的及び化学的性質

・外観	: 液体(5本のバイアル)
・色	: 無色
・臭い	: 無臭
・pH	: データなし
・融点	: データなし
・沸点	: データなし
・引火点	: データなし
・爆発範囲	: データなし
・蒸気圧	: データなし
・相対蒸気密度 (空気 = 1)	: データなし
・溶解度	: 水に可溶
・n-オクタノール/ 水分分配係数 (log Po/w)	: データなし
・自然発火温度	: データなし
・分解温度	: データなし
・燃焼性	: データなし

10. 安定性及び反応性

◇安定性

- ・推奨保管条件下で安定。

◇反応性

- ・データなし

◇危険有害反応性

- ・データなし

◇避けるべき条件

- ・日光、熱

◇混触危険物質

- ・データなし

◇危険有害な分解生成物

- ・データなし

11. 有害性情報

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

- ・データなし

分解性・濃縮性

- ・データなし
- 生体蓄積性
- ・データなし
- 土壤中への移動性
- ・データなし
- オゾン層への有害性
- ・データなし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 焼却法
スクラバーを具備した焼却炉で焼却する。
廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。なお上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

- 国連番号 : 非該当なし
- 国連分類 : -
- 品名 : -
- 容器等級 : -
- ICAO/IATA : 該当なし
- 海洋汚染物質 : 該当なし
- 注意事項 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。保管条件を考慮し、凍結状態を維持して運搬する。

15. 適用法令

適用法令なし

16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。